

## 目 次

### 【巻頭言】

●日本統合医療学会 (IMJ) の現状と課題

仁田 新一 …………… 1

### 【総 説】

●鍼灸医療の理念と統合医療

—これからの社会が必要とする医療の理念とその実践—

矢野 忠・安野富美子・坂井 友実 …………… 6

●がん患者に対する鍼灸治療

—臨床的有用性に関するエビデンスと緩和ケアチームでの試行—

増山 祥子・山下 仁・辻 涼太  
仲西 宏元・吉田 洋 …………… 13

●がん患者、およびがんサバイバーに対するヨガのエビデンスの  
現状と問題点

岡 孝和 …………… 20

●統合医療の理念は現代西洋医学を超えることが可能か

—史的教訓と実践をツールとして

—ヨーガ療法の立場から—

木村 慧心 …………… 26

●欧米と日本におけるカイロプラクティックの現状比較

竹谷内啓介 …………… 33

●腰痛に対する安全性の高いカイロプラクティック・ケアとは

三輪 健彦 …………… 41

●統合医療におけるメディカルアロマセラピーの位置付けと将来像

—精油の作用機序からの考察—

鳥居伸一郎 …………… 45

●マクロビオティックの成り立ちと健康効果の検討

助川 宏子 …………… 50

●リハビリテーションと統合医療

森本 義朗 …………… 57

【原 著】

- 医師は人工知能（AI）に職を奪われるか？  
—AIと統合医療による次世代地域包括ケアシステム—  
酒谷 薫・佐藤 豊・小室 有輝  
唐 尊一・姜 琳琳・胡 莉珍 …………… 61
- 兵庫県篠山市における彩華スポーツクラブでの活動で  
認知症に寄与した影響とその対策  
岡田 昌義・古杉 和広 …………… 66
- 癌患者の末梢血を用いた免疫モニタリング  
赤木 純児 …………… 72
- こころ・体・霊性を調え癒すケアの実践・教育・研究体験を  
通して考察する「統合医療のパワー」  
論点：統合医療の理念は現代西洋医学を超えることが可能か否か  
猪股千代子 …………… 77
- 持続可能な全人的地域包括ケアシステムの構築・推進における  
保健師の役割  
八田 冷子・堀之内貢子・満永たまよ …………… 86

【報 告】

- がん領域における統合医療のエビデンス  
—「つくる」「つたえる」「つかう」の視点から—  
大野 智 …………… 93
- 統合医療と高血圧診療  
宗像 正徳 …………… 98
- 医師会病院における鍼灸の試み  
—地域連携に向けて—  
高橋 信博・篠原 昭二・安田 和史  
三井 友美・中村 智明・赤木 純児 …………… 104
- 災害時における鍼灸支援の意義と課題  
—東日本大震災と熊本地震の経験を通して—  
大政 朋子・今井 賢治・高橋 徳 …………… 108
- 災害支援における鍼灸マッサージの役割と課題  
—東日本大震災、関東東北豪雨、熊本地震での鍼灸・マッサージの  
被災地支援活動を通じて—  
三輪 正敬 …………… 113

●認知症と鍼灸師・鍼灸

松浦 正人・兵頭 明・吉村 春生 …………… 118

●鍼刺激がフリッカー値および唾液アミラーゼに与える影響

鶴 浩幸・長谷川 希・佐藤 万代  
山崎 翼・福田 晋平・江川 雅人 …………… 124

●地域医療と統合医療

—多分野連携による未来医療の可能性—

—石英一郎 …………… 127

●筋骨格系症状に対するカイロプラクティックと鍼灸による治療

—治療法実施の判断に客観的身体評価方法を利用した臨床実践—

吉川 祐介・竹谷内克彰 …………… 133

●カイロプラクティックとヨガを組み合わせた段階的ケアの実践

佐藤 宗延・竹谷内克彰 …………… 138

●柔道整復師界の現状と課題

山口登一郎 …………… 144

●腰痛に対するヨーガ療法 心理療法としての取り組み

木村 宏輝 …………… 150

●地域医療と臨床宗教師の連携の可能性を探る

高橋 悦堂 …………… 154

●臨床宗教師との連携による未来医療の可能性

谷山 洋三 …………… 158

■投稿規定 …………… 164

■日本統合医療学会認定資格申請要項 …………… 166

■日本統合医療学会認定施設資格申請要項 …………… 168

■日本統合医療学会指導資格申請要項 …………… 169

■編集後記 …………… 170